

くらし第一の市政。切実な願い実現へ質問

12月議会の一般質問がはじまりました

12月6日から4日間の日程で一般質問がおこなわれています。6日は、池川友一議員と佐々木とも子議員が切実な願い実現を求めて質問に立ちました。その要旨を紹介します。

● 学校給食の放射能調査実施を「実施する方向で検討」



池川友一市議は、放射能問題について質問。市民の不安にこたえる細かい測定を求めた質問には、公立の全小中学校と保育園の細かい放射線測定に加え、測定器を10台購入して児童青少年施設や公園などでも測定をすると答弁。また、学校給食の放射性物質調査を求めた質問に、「実施する方向で検討している」と、はじめて明らかにしました。今後、厚労省の新基準に合わせて準備をしていく方向です。また、放射線問題にとりくむ際に「あらゆる可能性を排除しない」「安全にやりすぎはない」という立場で臨むべきだと求めました。

市議会議員（1期）池川友一

することを求めました。周辺自治体はすべて市内業者に限定し、工事も細かいものも対象となっていますが、町田市は「制度変更はしない」という答弁に終始しました。

● 子どもの成長と発達を保障する 保育園の充実を

待機児解消は、認可保育所の増設を柱にしてすすめるべきであり、子どもの成長と発達を保障するために保育園の面積基準の緩和（引き下げ）はすべきではないと求めたのに対して、「緩和は」現実的な方法の一つ」と答弁。また、保育園への株式会社参入も視野に検討していると答えました。



● 介護保険料の値上げ抑制を「基金の活用を予定している」



佐々木とも子市議は、2012年から14年度の「第5期介護保険事業計画」の素案を元に、高齢者にとって安心できる介護保険制度について質問しました。第5期計画では、特養老人ホーム1施設（200床）、認知症対応グループホーム5施設、認知症対応デイサービス2施設などが増設される一方で、保険料の暫定基準額が5400円弱と大幅な値上げとなる見通しです。保険料の上昇抑制策を求めたのに対して、いきいき健康部長は「介護給付費準備基金（12億円）と財政安定化基金（1億7千万円）の活用を予定している」と答え、1億円で30円の引き下げになるとしました。

市議会議員（3期）佐々木とも子

「木曽山崎団地地区のまちづくり」については、現在、住民代表が参加する連絡協議会で、まちづくりの基本的方向性や跡地活用が議論され、今年度中には構想案・活用案がまとまるとして、市長からも「団地再生のモデル事業として位置づけている」との答弁がありました。

● 生涯学習センター運営協議会に 市民委員枠を増やすべき

来年4月に開設する生涯学習センターのあり方については、社会教育主事研修に2名を派遣し専門職の養成をはかっていることや、「生涯学習センター運営協議会」の設置にあたっては、市民委員を一定数入れることを要綱で準備していることを担当部長が明らかにしました。

また、東京都がこの夏に実施した生活保護世帯への冷房機器設置緊急支援策に関する市の見解を質すと、申請のあった5世帯には「必要性を理解した上で対応した」と福祉部長が答弁。

本日の一般質問

—傍聴にお越しく下さい—



細野りゅう子 7日水2番目

- 子どもたちの成長を保障する町田の教育を求めて
- 障がい児福祉制度の改善を求めて
- 田園都市線南町田駅北口広場の整備について問う



とのむら健一 7日水7番目

- 子どもたちの命と健康を守る医療の充実を求めて
- 古代遺跡の歴史とロマンを町田の子どもたちと市民に
- 新庁舎建設における市内業者活用と「市の名産品」の取り扱いについて問う